

作成日 2023年 10月 2日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	3-フェニルプロパノイル=クロリド 3-Phenylpropanoyl chloride
製品名	3-フェニルプロピオニルクロリド
製品コード	F-019411
SDS整理番号	ZC23032-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性化学品	区分1
健康に対する有害性	急性毒性(経皮)	区分4
	急性毒性(吸入: 蒸気)	区分3
	皮膚腐食性/刺激性	区分1C
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
環境に対する有害性		該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H290 金属腐食のおそれ
H312 皮膚に接触すると有害
H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318 重篤な眼の損傷
H331 吸入すると有毒

注意書き

【安全対策】

P234 他の容器に移し替えないこと。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと。
P303+P361+P353 皮膚または髪に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310 ただちに医師に連絡すること。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P390 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

【保管】

- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。
 P406 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

【廃棄】

- P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

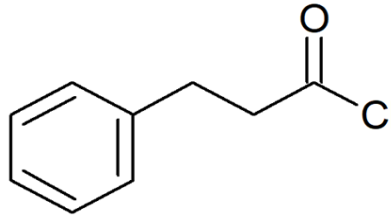
単一物質・混合物の区別
 化学名または一般名

単一物質
 3-フェニルプロパノイルクロリド
 3-Phenylpropanoyl chloride

慣用名または別名
 CAS番号
 分子式 (分子量)

3-フェニルプロパン酸クロリド、ベンゼンプロピオン酸クロリド 他
 645-45-4
 C₉H₉ClO (168.62)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲
 官報公示整理番号

98.0%以上

化審法： -
 安衛法： 4-(7)-2652

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

ただちに医師に連絡すること。
 ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。
 皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

眼に入った場合

ただちに医師に連絡すること。
 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

ただちに医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。
 無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

ただちに医師に連絡すること。
 適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤

水

火災時の特有の危険有害性

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意すること。

特有の消火方法

消火作業は風上の安全な地点から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。

消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させること。
 周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。
 消火作業の際は、必ず保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

個人用保護具を着用すること。
 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。

環境に対する注意事項

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させること。
 十分に換気を行うこと。

封じ込めおよび浄化の方法および機材

環境中に放出しないこと。
 ウェス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収すること。
 大量の流出には盛土で囲って流出を防止すること。
 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分すること。

二次災害の防止策

水と接触させないこと。
 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除くこと。
 着火した場合に備えて消火用器材を準備すること。
 火花を発生しない安全な用具を使用すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 適切な保護具を着用すること。
 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させないこと。
 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。
 できれば密閉系で取扱うこと。

安全取扱注意事項

皮膚、眼および衣類との接触を避けること。
 容器の内圧が高くなっている場合がある。開封は充分な注意のもとに行うこと。
 耐食性のある装置や器具を使用すること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、冷暗所に保管すること。
 不活性ガスを充填すること。
 湿気を避けること。
 施錠して保管すること。
 酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。
 法令の定めるところに従うこと。
 他の容器に移し替えないこと。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
設備対策

設定されていない。
 装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
 取扱い場所の近くには洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼、顔面の保護具

皮膚および身体の保護具

防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
 不浸透性の手袋。
 保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。
 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的および化学的性質

物理状態

液体

形状

透明

色

無色 ~ うすい黄色

臭い

刺激臭

融点/凝固点

-7~-5℃

沸点または初留点および沸点範囲

105~108℃@11mmHg

可燃性

情報なし

爆発下限界および爆発上限界/可燃限界

情報なし

引火点

108℃

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

情報なし

動粘性率

情報なし

溶解度

[水]

情報なし

[その他の溶剤]

情報なし

可溶:

情報なし

n-オクタノール/水分配係数(log値)

情報なし

蒸気圧

情報なし

密度および/または相対密度(g/ml)

1.130~1.138(20℃)

相対ガス密度

情報なし

粒子特性

情報なし

10. 安定性および反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性

水との接触により分解し、有毒なガスを発生する。

避けるべき条件

湿気

混触危険物質

酸化剤

危険有害な分解生成物

二酸化炭素、一酸化炭素、塩化水素。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	情報なし
	経皮	情報なし
	吸入	LC50: 2750mg/m ³ ・4H(Rat)
皮膚腐食性/刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		情報なし
呼吸器感受性		情報なし
皮膚感受性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		情報なし
甲殻類		情報なし
藻類		情報なし
残留性・分解性		情報なし
生物蓄積性(BCF)		情報なし
土壤中の移動性		
	n-オクタノール・水分配係数	情報なし
	土壤吸着係数(Koc)	情報なし
	ヘンリー定数(PaM ³ /mol)	情報なし
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	適切な保護具を着用すること。 地方条例や国内規制に従うこと。 焼却処理する場合には、アフターバーナーおよびスクラバーを備えた焼却炉で焼却すること。 処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	1760
国連輸送名	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
国連分類	クラス8(腐食性物質)
容器等級	III
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。 重量物を上積みしないこと。
緊急時応急措置指針番号	154

15. 適用法令

特定有害廃棄物輸出入規制法	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
航空法	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
船舶安全法	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・腐食性物質(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
外国為替及び外国貿易法	輸出入貿易管理令別表第2(輸出の承認) 輸出入貿易管理令別表第1の16の項 輸出入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

16. その他の情報

主な参考文献

3-フェニルプロピオニルクロリド - 善ケミカル株式会社 - ZC23032-01 - 2023年 10月 2日

webデータベース "ezADVANCE"(2023/09/29 アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2023/09/29 アクセス)

安全データシート "3-Phenylpropionyl Chloride", 東京化成工業株式会社 2022/03/19 改訂版

安全データシート "3-フェニルプロピオニルクロリド", 富士フィルム和光純薬株式会社 2023/02/13 改訂版

SAFETY DATA SHEET (3-Phenylpropionyl Chloride),
Bhushipa Chemicals Pvt. LTD, Revised on 2022/11/26

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の見取りを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 10月 2日 作成